

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	展示事業				シート番号	008-063
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)
						増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、堺の歴史・文化を紹介するために、堺に関する歴史・考古・民俗・美術資料を展示している。平成27年度、従来の特別展事業と企画常設展事業を統合した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	常設展示のほか、企画展、特別展等を行い、市民及びビジターを対象に、堺市の歴史を多様な角度から紹介することを目的とする。また、堺市の伝統を軸とした都市としての魅力を創出し、文化芸術の拠点性の向上に努めることにより、都市イメージの向上、集客及び個性豊かな市民文化の向上を目指す。また、特別展では、より広範囲からの集客やリピーターを獲得して『堺市の広報』としての情報発信も担う。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	博物館の基本展示である常設展示のほか、テーマをしぼり深く掘り下げた内容を紹介する企画展を年間5回程度実施し、他部局と連携した企画や、観覧者の多様な興味・要望に応じた企画により開催している。特別展では、通常2~3年の調査・準備期間を費やして、企画・実施する。多方面からの資料を借用して展示、それに伴う展示場の内装整備、図録の作成、関連事業の実施等を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算		
11 事業費 (a)	千円	11,433	13,638	11,752	12,969	8,489	7,403	12,070		
主な事業費内訳	会場設営、資料集荷返却等展示関連業務	千円	6,555	8,732	7,120	7,517	4,100	2,702	3,580	
	図録、リーフレット製作等広報・資料作成等業務	千円	1,850	2,820	1,500	2,870	2,800	2,055	5,470	
		千円								
		千円								
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	7,460	2,037	6,937	2,104	5,674	3,170	5,710
市債		千円								
その他(物品売払収入)		千円		418		0	2,000	1,900	4,450	
一般財源	千円	3,973	11,183	4,815	10,865	815	2,333	1,910		
12 人件費 (b)	千円	25,420	25,420	25,420	25,420	34,740	25,110	25,420		
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	36,853	39,058	37,172	38,389	43,229	32,513	37,490		

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	展示事業	シート番号	008-063
-------	------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	○企画展「描かれた仏の世界—堺の仏教絵画—」 10/5~11/4 ○堺市史編纂90周年記念展「わたしたちの歴史を編む—『堺市史』とその時代—」 11/16~12/22 ○教育普及展「むかしの暮らし—ふしぎな道具の世界—」 R2 1/11~3/8							
	14	企画展の開催回数	回	目標値	5	7	5	4
				実績値	6	7	4	
				達成率	120%	100%	80%	
				評価	大変良い	良い	普通	
		算出方法・設定根拠など	展示事業の内容及び性質に伴い準備・開催期間の長短があるため、必然的に年間の開催回数には差が生じる。					
	16	特別展の開催回数	回	目標値	1	1		0
				実績値	1	1		
				達成率	100%	100%		
				評価	良い	良い		
		算出方法・設定根拠など	開催回数/令和元年度は世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業で開催。令和2年度は世界遺産登録記念展示事業で開催。					

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 企画展の開催回数	回	6	7	4
	② 上記①にかかる年間経費	千円	27,733	25,165	32,513
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,622,167	3,595,000	8,128,250
備考(算出についての説明等)		事業の経費から特別展開催経費を差し引いた。(人件費2.4)			
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① 特別展の開催回数	回	1	1	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	11,625	10,424	
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	11,625,000	10,424,000	
備考(算出についての説明等)		人件費0.7。令和元年度は世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業で開催。			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	【分析のチェックポイント】 ○ 事業の達成度はどうだったか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
	当初は世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業だけではなく、本事業においても特別展を実施する予定であったが、予算的な問題で企画展5回の開催となった。	

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	展示事業	シート番号	008-063
-------	------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 直接的に市民生活等に及ぼす影響は少ないと考えられるが、博物館事業の根幹となる事業であり、廃止することはできない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民生活への具体的な影響はないが、来館者・来場者にもたらす影響は少なくないと考えられる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 企画展の規模や実施回数など、コスト縮減に向けた事業の実施方法の検討を行う。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 入館に際する入場制限、消毒、社会的距離の確保等の対策をとっている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 大学との連携による研究・展示等を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 堺の歴史・文化について、教育的・学術的側面から来館者に伝える博物館の事業の根幹をなすものであることから、企画展・特別展の内容や開催回数など、費用対効果を検証しながら、より魅力ある展示に取り組む。		